

再評価調査

事業名	街路事業（都市計画道路 堺港大堀線）			
所在地	松原市天美我堂五丁目、北新町四丁目、天美南三丁目、天美南五丁目、天美南二丁目、天美南三丁目地内			
再評価理由	事業採択後 10 年を経過した時点で継続中			
事業概要	目的	松原市域を東西に貫く幹線道路であり、松原市域の主要東西幹線である主要地方道堺大和高田線や一般府道大堀堺線の慢性的な交通混雑を緩和するものとして、道路新設するものである。		
	内容	延長 0.9 km（一般府道我堂金岡線～一般府道大堀堺線） 幅員 16～27 m 道路区分 第4種第2級 2車線道路		
	事業費	全体事業費：約102億円 うち投資済事業費：約52億円 （内訳）用地補償費約70億円 （内訳）用地補償費約52億円 （用地補償単価約41万円/m ² ） 工事費等約32億円 工事費等約0億円 （工事費等単価約360万円/m）		
	維持管理費	約4.0百万円/年（約4.1百万円/km・年）		
	上位計画	大阪府交通道路マスタープラン 大阪府都市基盤整備中期計画（案）		
	関連事業			
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	現時点での状況	分析
		事業採択年度：H8年度 事業着手年度：H8年度 完成予定年度：H14年度	事業採択年度：H8年度 事業着手年度：H8年度 完成予定年度：H22年度	
	進捗状況		用地： 86% 工事： 0%	17年度に用地取得を完了する予定
	途中段階の整備効果発現状況	一般府道我堂金岡線から主要地方道大阪狭山線までの区間を先行整備し、整備効果を発現しながら事業推進に努める。		
事業進捗に関する課題				

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	現時点での状況	分析
		本路線は松原市域の東西方向の交通混雑の緩和を図るため、順次整備をしており、本事業区間の整備により一般府道我堂金岡線と大阪中央環状線とが結ばれるネットワークが形成されることから、整備に着手した。	（周辺道路） 大堀堺線 （交通容量：約7,470台） 交通量 8,484台（平成6年） 8,201台（平成9年） 8,852台（平成11年） 堺大和高田線 （交通容量：約11,290台） 交通量 17,591台（平成6年） 17,171台（平成9年） 18,943台（平成11年） 交通センサスより	依然として交通量が交通容量を超えており、交通混雑していることから、この緩和を図る必要がある。
地元等の協力体制		松原市域の東西方向の交通混雑の緩和を図るため、早期整備が望まれている。	依然として交通量が交通容量を超えており、交通混雑していることから、早期整備が望まれている。	平成22年度の完成に向け、引続き地元の協力を得て、事業推進に努める。

		計画時の想定		現時点での状況（変更点）	分析
			備考		
事業効果の定量的分析	費用便益分析	計画時点では費用便益の分析手法が確立されておらず、算出することができなかったものの、本事業整備による事業効果が期待される。	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な便益内容 走行時間の効果（走行時間の短縮） 走行経費の効果（時間短縮による走行経費の節減） 受益者 道路利用者 	<ul style="list-style-type: none"> $B / C = 4.19$ 総便益 B = 471.5億円 総費用 C = 112.6億円 算出根拠 費用便益分析マニュアル（国土交通省平成15年8月） 	本事業整備による事業効果が期待できる。
	その他の指標（代替指標）				
事業効果の定性的分析	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 歩車道分離による歩行者、自転車の安全確保 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 地域住民、道路利用者 	変更点特になし	
	活力	<ul style="list-style-type: none"> 物流の効率化の支援 地域間交流連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 地域住民 	変更点特になし	
	快適性	<ul style="list-style-type: none"> 十分な幅員が確保された歩道による快適性の向上 近鉄河内天美駅へのアクセス性向上 	<ul style="list-style-type: none"> 受益者 地域住民、道路利用者 	変更点特になし	
	その他				
自然環境等への影響と対策		<ul style="list-style-type: none"> 道路の整備により旅行速度が向上し、CO2の排出量が削減される。 植樹帯の設置により、緑の回復に努める。 		変更点特になし	
その他特記すべき事項		<ul style="list-style-type: none"> 鉄道事業者との設計・施工協議において、列車運行の安全確保等を図るために必要な対策工等を追加する場合は、工事費に変動あり。 鉄道事業者との協議状況：交差方法（オーバーパス）等についての計画協議を終えている。 平成17年度に施工方法・安全対策方法や本施工に伴い移設等が発生する鉄道施設の設計等を行う予定。（設計協議） 			